



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第3号

令和5年6月2日

文京区立本郷台中学校

校長 江熊 秀昭

スポーツを楽しむ 校長 江熊 秀昭

「スポーツ」と聞いて、みなさんは何が頭に思い浮かびますか？ 陸上や水泳、野球にサッカー、テニスといった球技など、いわゆる体育の授業や部活動で経験したことがある競技種目を思い浮かべるのではないのでしょうか。

競技としてのスポーツには、ルールと勝敗があり、また自分の限界に挑戦するような、どこか求道的な印象があります。「少しとっつきにくいなあ」と敬遠したり、激しい活動に苦手意識を持つ人もいるでしょう。

しかし、「スポーツ」という言葉は本来とても広いもので、競技スポーツに限るものではなく、「身体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足をもたらすもの」と定義されています。朝の体操から散歩やランニングから、家族や気の合う仲間と行くハイキングに海水浴など、スポーツとは一部の競技選手や運動に自信がある人だけのものではなく、それぞれの適性や志向に応じて、自由に楽しむことができる「みんなのもの」なのです。

そして、スポーツとの関わり方は「する」ことだけに留まりません。WBCやオリンピックなどスポーツを観戦し、応援する。スポーツを「みる」「ささえる」という行為によって、鍛えられた選手の姿に心を震わせ、勇気をもらうことができます。「する」だけでなく「みる」「ささえる」ことも含めて、スポーツは“日常生活の一部”であり、あらゆる人の人生に活力や感動を与えてくれるものなのです。

スポーツという言葉の語源は、英語の「Sport」は19～20世紀にかけて世界で一般化した言葉で、由来はラテン語の「deportare」（デポルターレ）という単語だとされています。デポルターレとは、「運び去る、運搬する」の意味。そこから、精神的な次元の移動・転換、やがて「義務からの気分転換、元気の回復」仕事や家事といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を意味します。

つまりスポーツの本質は、「人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにする、より楽しむために勝利を追及するもよし、自分ペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるもの」です。



10日(土)の運動会を控え、苦手な人も得意な人も練習しています。思い入れの濃淡はあ
 るでしょうが、本番では競技や演技中はもちろん、
 応援している際も存分に「スポーツ」することを
 楽しんで欲しいと願います。また、観覧している
 生徒のご家族、域の方も楽しむことのできる、そ
 のような25周年記念運動会を目指しています。



「する生徒」「みる生徒、観覧者」「ささえる係生徒、PTA、教職員、観覧者」にとって
 有意義な一日としたいものです。是非、ご来校下さい。

創立25周年 運動会 スローガン

「挑戦・激戦・超熱戦」

生徒の活躍

- ・テニス部 第4ブロック大会 女子ダブルス
 第3位 (都大会出場)
 第5位

6月行事予定

3日	土	三河神社例大祭
5日	月	生徒会朝礼
7日	水	運動会予行練習
9日	金	第1回漢字検定
10日	土	開校25周年記念 運動会
12日	月	振替休日
13日	火	運動会予備日
14日	水	期末考査1週間前
16日	金	教育実習終
19日	月	全校朝礼・安全指導・学力向上を図るための調査(1年)
21日	水	期末考査(理科・音楽・美術)
22日	木	期末考査(英語・国語・技術家庭)
23日	金	期末考査(社会・数学・保健体育)・避難訓練
26日	月	学年朝礼・3年領域別診断テスト
28日	水	研修・移動教室、プール前健康相談(希望者)・ドッジビー練習会(18:30~)
30日	金	定期健康診断終